

感染症治療薬（抗菌薬・抗真菌薬）の投与を受けた患者様およびご家族の皆様へ （臨床研究に対するご協力のお願い）

：札幌西円山病院では、北海道科学大学薬学部、西岡病院、恵庭第一病院と共同で、感染症の治療薬（抗菌薬あるいは抗真菌薬）の投与（内服、注射）を受けられた患者様の診療記録（カルテ）および検査情報を使用して、以下の臨床研究を実施しております。本研究に該当する可能性のある患者様のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者様への新たなご負担は一切ありません。また、患者様のプライバシー（個人情報）の保護については最善を尽くします。

もし、本研究への協力を望まれない患者様ならびにご家族がいらっしゃいましたら、その旨を、下記の「5. お問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【研究課題】

抗微生物薬適正使用支援プログラム（Antimicrobial stewardship program; ASP）推進が感染症患者の治療アウトカム指標および診療プロセス指標に及ぼす効果（多施設共同研究）

1. 研究の対象

2011年1月～2020年3月の間に下記病院にて入院あるいは通院され、抗菌薬・抗真菌薬の投与（内服、注射）を受けた方

2. 研究目的・方法

病院内において抗菌薬使用の際に「培養検査」などの感染症診断に関連する検査の実施状況や、またその検査結果に基づいて抗菌薬が選択されていたかについて調査を行います。さらに、病院内で一定期間に使用された抗菌薬の量、投与日数と、抗菌薬が効かなくなる「薬剤耐性菌」の出現数の関連などを調べます。

研究実施期間：2020年4月2日～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報：抗菌薬使用量（薬剤名・投与日数・1回の投与量・投与期間）や培養検査情報（抗菌薬の感受性試験結果）、背景情報（基礎疾患、性別、入院・通院診療科）、血液学・生化学検査結果

4. 外部への試料・情報の提供

上記のカルテ情報は、抗菌薬使用量状況および薬剤耐性菌発現状況の集計・解析のため

めに北海道科学大学薬学部に、電子媒体（個人を特定できる情報は削除したうえで）で宅配にて送付します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者（患者さん）もしくは対象者（患者さん）の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

[連絡先・相談窓口]

札幌西円山病院 薬剤部 富田 昌志

TEL 011-644-3250 直通 011-642-4288

以上